

# 作業療法を知っていただくために

広汎性発達障がい・行為行動障害・身体障がい  
知的障がい ・ 重症心身障がい

障がいとともに育つ子供たちのために  
健常と言われる子供たちのためにも

龍ヶ崎市 児童通園テイサービス 「つぼみ園」  
稲敷市 非営利一般社団法人 「あっとほーむいなしき」  
作業療法士 課主任介護支援専門員 障害ケアマネジャー

浅野 有子

# 作業療法とは何？

身体または精神に障害のある者、またはそれが予測される者に対してその主体的な生活の獲得を図るため、諸機能の回復・維持・および開発を促すような作業活動を用いて行う治療・訓練・指導および援助をいいます。

(社法) 日本作業療法士協会・定義

# 作業療法士（OT）って何をする人

- ・リハビリテーション医療の専門職で
- ・脳の機能回復・生活の機能回復の専門家。
- ・対象とする一人一人の立場・価値観に沿い
- ・生活の実態の改善を目指して
- ・本人と協力して、本人の意欲を引き出し、援助していく専門家。（対人援助職）
- ・様々な参加・活動・作業・ネットワークを手段として活用します。
- ・集団や場を設計、展開すること得意です。

# 私たちが作業療法士は

- 私達は、リハビリテーションの専門家として、  
治療・訓練・指導・援助を行います。
- 私達は、対象者の機能・能力・可能性・活動・参加  
を伸ばすお手伝いをします。
- 私達は、対象者と、その御家族の望む暮らしを  
共に目指し QOL(人生の質)を高める  
お手伝いをします。
- 私達は、地域・保健・福祉に貢献いたします。

## 援助

- ・障害や困難を正しく知り、受け入れ、今後の発達予測を得ながら、可能性を信じ、自信を持って子育てにあたるよう援助
- ・親どうし、子供どうしの相互支援を支え促していく
- ・一緒に保育、一緒に教育、支援費制度の体制創り

## 訓練

- ・身体機能の発達を促す 生  
活動作、活動の発達へ向け
- ・認知－運動課題をよ  
いスムーズに楽しめるよう  
行う
- ・認知、構成、コミュニケーション  
技能向上



## 地域療育支援

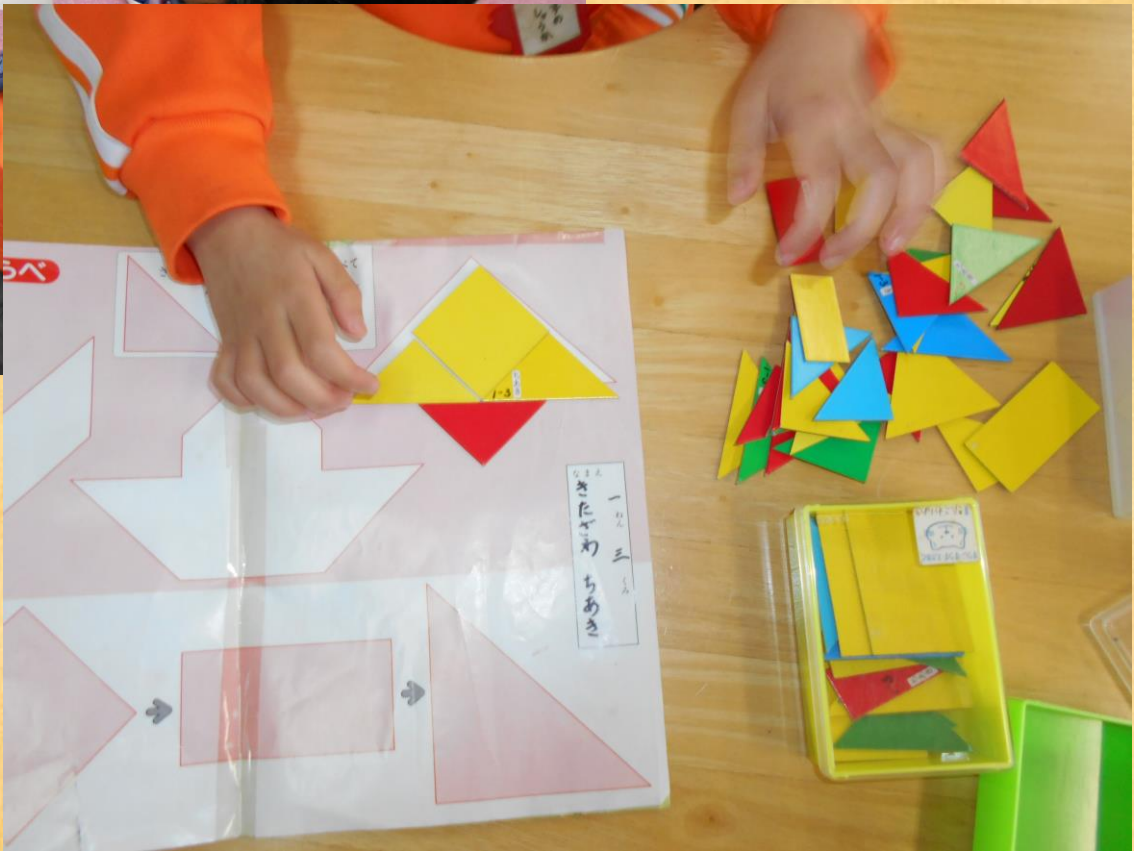
## 治療

- ・痙性の抑制
- ・関節可動域拡大、支持性強化
- ・神経－運動協調・コントロール回復(知覚－運動)
- ・感覚刺激の受容度を高め、処理できるよう促進・抑制
- ・認知－情報処理機能回復

## 指導

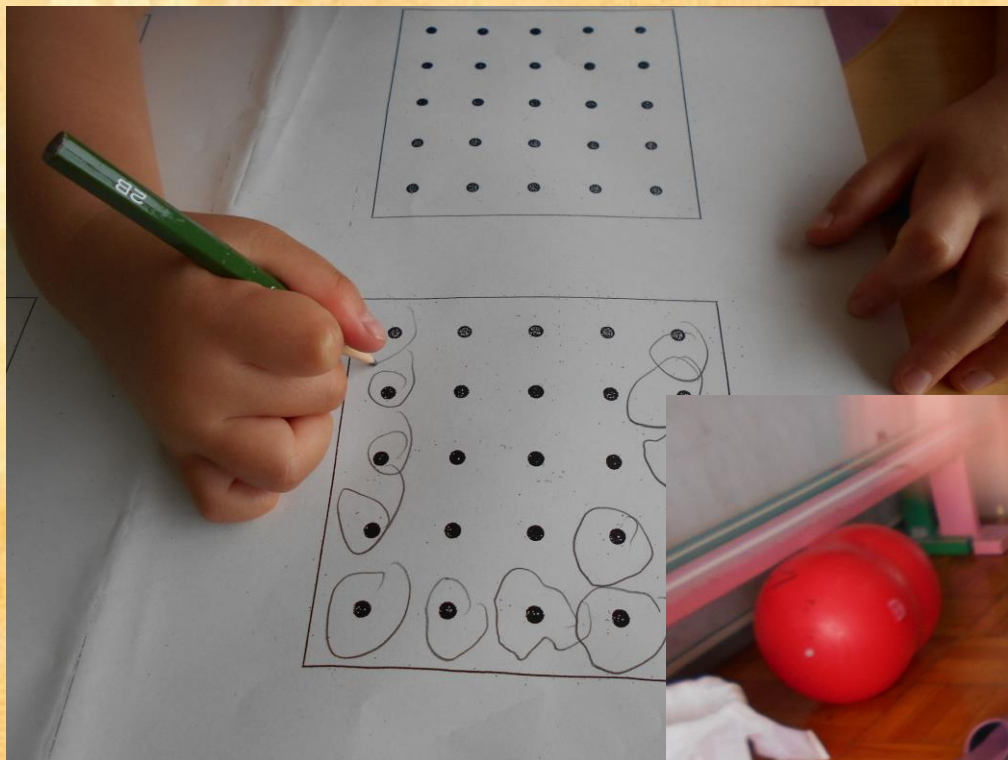
- ・家庭療育の中でとり入れた  
方がよい刺激、課題
- ・保育、教育の場へ療育の1  
専門家としてのアドバイス
- ・家族の関わり方  
(ケースバイケース、家族の都  
合もよく考慮し)





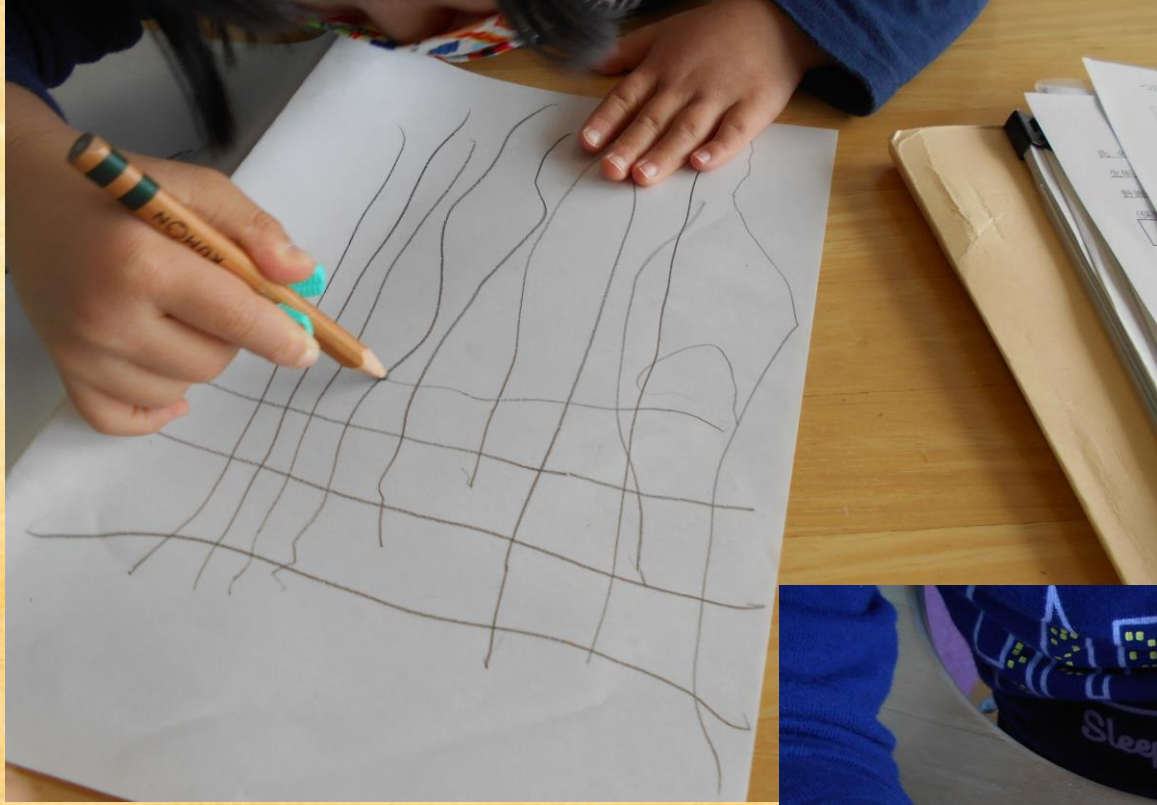












# 支援保育・特別支援教育対象児童

- ☞ 身体障がい児童（肢体不自由・内部障がい）
- ☞ 精神発達遅滞児童 運動機能は正常でも  
知能・行為・行動には支援を要する
- ☞ 重症心身障がい児童 複合的障がいADLの介助
- ☞ 発達障がい 情緒障がい  
広汎性発達障がい・自閉症  
アスペルガー症候群・学習障がい・ADHD
- ☞ その他の要支援児童

個別の支援計画 と 個別生活支援技術  
個別の発達促進計画 と 促進への介入

# 身体障がい児童

- 脳性小児まひ
- 先天性奇形
- 先天性心疾患
- 先天性内臓疾患
- 分娩麻痺
- その他の身体障がい
- 二分脊椎
- 小児心疾患

麻痺や体の不具合に対処するリハビリ訓練  
出来ないこと 発達課題の未経験  
を補う療育支援

# 重症心身障がい児とは

重症心身障がい児・者とは、身体的、精神的障害が重複し、かつそれぞれの障がいが重度である児童および満18歳以下の者をいう

(1996年 厚生省次官通達)

\* **重複障がい**との違い

(二つ以上の障がいが合併している)

≡ **重度重複障がい**

**医療的ケア児では看護師との協働 連携重要**

**介護介入方法の指導支援**

**身体の変形や機能不全の増大を防ぐ**

# 原因

## 出生前：

染色体異常、先天性代謝異常、小頭症、  
水頭症、病因不明等

## 周産期：

低体重児、低酸素症(仮死)、  
高ビリルビン血症等

## 周産期後：

髄膜炎、脳炎、点頭てんかん、  
不慮の事故等



# 重症児の特徴

障がいが重度であるため、標準化された検査での評価がしづらい→**行動観察が重要**

言語的コミュニケーションが困難なため、こちらに指示に従うことができない

→**非言語的コミュニケーションの利用**

医療上の問題が大きい児も多い

呼吸、嚥下、体温調節、排便、消化器疾患等

→**医療との連携が重要**

# 重症児の特徴

重度の運動障がい

→ **異常な筋緊張、変形・拘縮・脱臼等**

知覚障がいの合併：視覚、聴覚障害

行動障がい → 特に「**動く重障児**」

ADLは全介助(全面依存)レベルが通常

**嚥下障がい、呼吸障がい**が問題になりやすい  
**医療的ケア**

# 重症児の療育に関する考え方

❧「ふつうの子どもになる」ことはきわめて困難

❧社会に役立つ存在「投資的価値判断」ではなく「人としての尊厳、人権」

(憲法13条)の見地が重要で親・家族・地域にとっての価値をしっかりと支援することが重要

# 重度運動障がいに対するアプローチ

❧ 原則として、脳性麻痺児へのアプローチに準ずる

❧ 粗大運動 から 巧緻運動課題へ

筋緊張の調整

(リラクゼーション、ストレッチング 等)

ポジショニング ・ 体位変換

→呼吸管理・嚥下障がい、自発性の向上にもつながる

❧ 巧緻運動

注視(固視)、追視の練習・対象物の操作の練習

# 重度知的障がいに対するアプローチ

感覚—運動 を 手段にする

## ③ 覚醒度を高める

網様体賦活系：感覚入力による  
(前庭覚・触覚・固有受容覚)

### ① 自己の身体の手触を楽しむ

触覚、圧覚、振動覚、前庭覚、視覚、聴覚

### ② 対象物に触れる

感覚入力を求めて触れる

### ③ 対象物を操作する(因果関係の理解)

スイッチ遊び、ピアノなどの楽器等

# 龍ヶ崎市障がい児通所支援事業所 つぼみ園(1)概要

☞心身の発達に何らかの不安のあるお子さんの成長を支援するため、日常生活動作、運動機能等の指導や訓練 保護者の支援 などの療育指導を行う。

☞対象者：龍ヶ崎市にお住まいの以下のお子さん

☞小学校就学前のお子さん

☞学齢に達した障がいのあるお子さん

☞指導体制：療育指導員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育指導員、社会福祉士

# 龍ヶ崎市障がい児通所支援事業所 つぼみ園(2)集団指導

## 児童発達支援(未就学児)

- ❧親子通園で月から金の午前中に実施。
- ❧発達課題状況に応じ、運動グループ・感覚統合グループ等に分かれ、日常の基本動作や運動能力・認識や言語・対人関係の向上のための指導を行う。

## 放課後等デイサービス(学童)

- ❧学校帰りに児童を預かり、楽しく過ごしながら、自己活動や集団活動の状況を見たり、保護者の相談により課題を設定して指導を行う。

# 龍ヶ崎市障がい児通所支援事業所 つぼみ園(3)個別指導

## ❧ 療育指導(発達総合判定)・・・4～5回/月

発達状況の確認・発達の総合判定、日常家庭生活への助言

## ❧ 理学療法(PT)・・・2回/月

身体機能の維持・向上・発達のための訓練・アドバイス。

## ❧ 作業療法(OT)・・・4回/月

日常生活の動作・運動・遊びの指導・アドバイス。

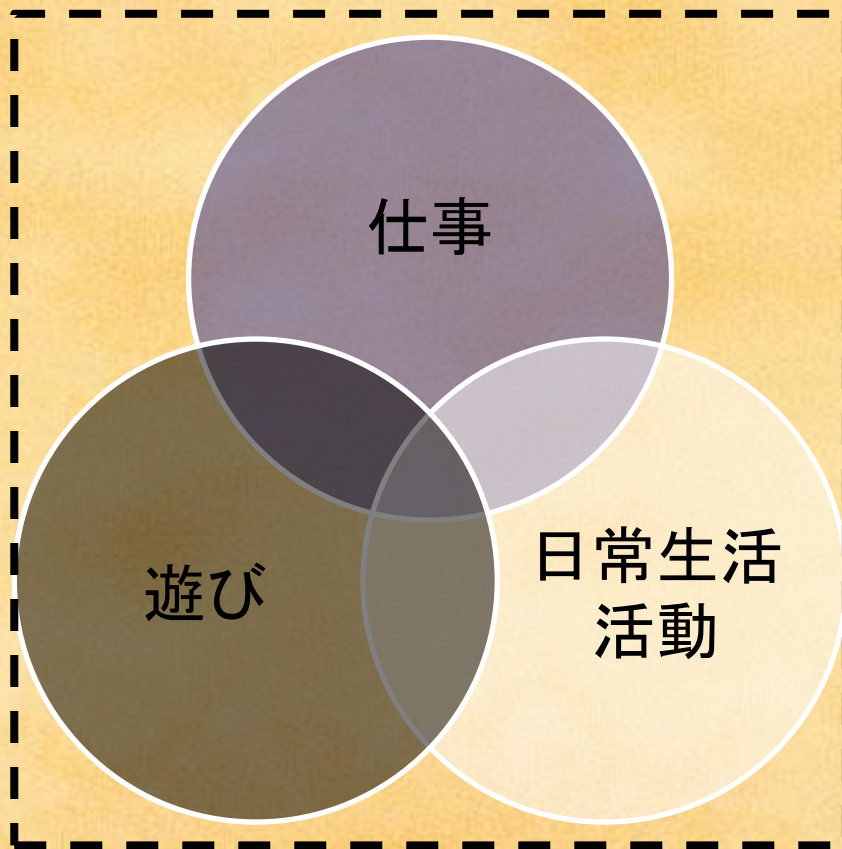
## ❧ 言語療法(ST)・・・3回/月

コミュニケーション技術の向上、発達促進のための訓練・アドバイス。

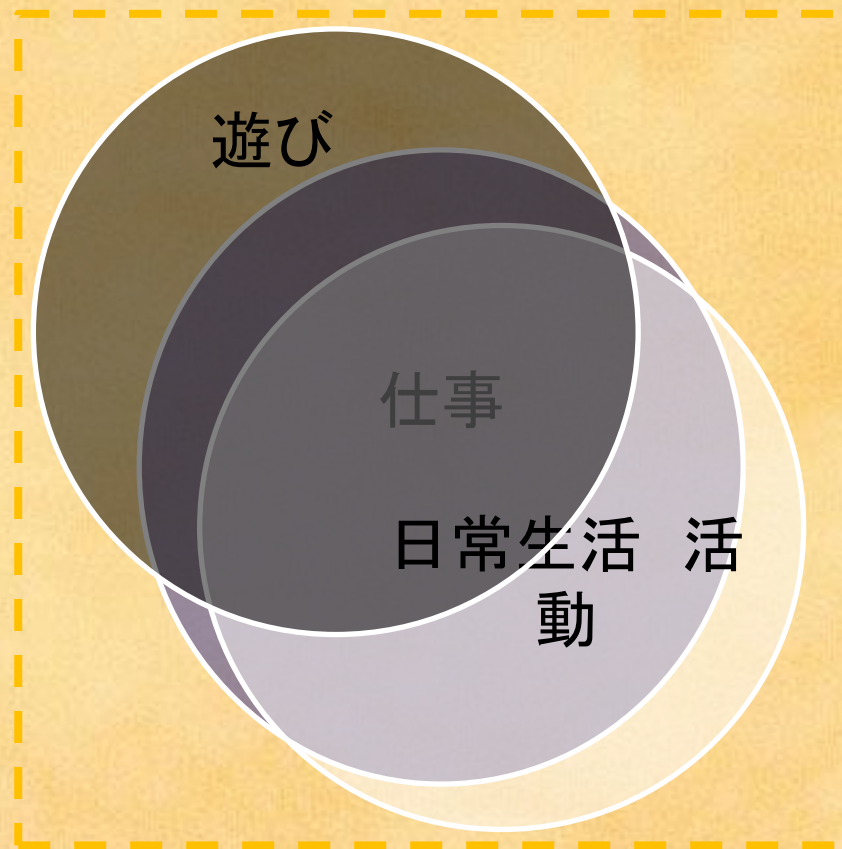


# 作業療法・発達領域での 遊びの位置付け

作業的生活の構成・拡がり



乳幼児における作業的生活の  
要素の重なり



# Takataによる遊びの発達段階

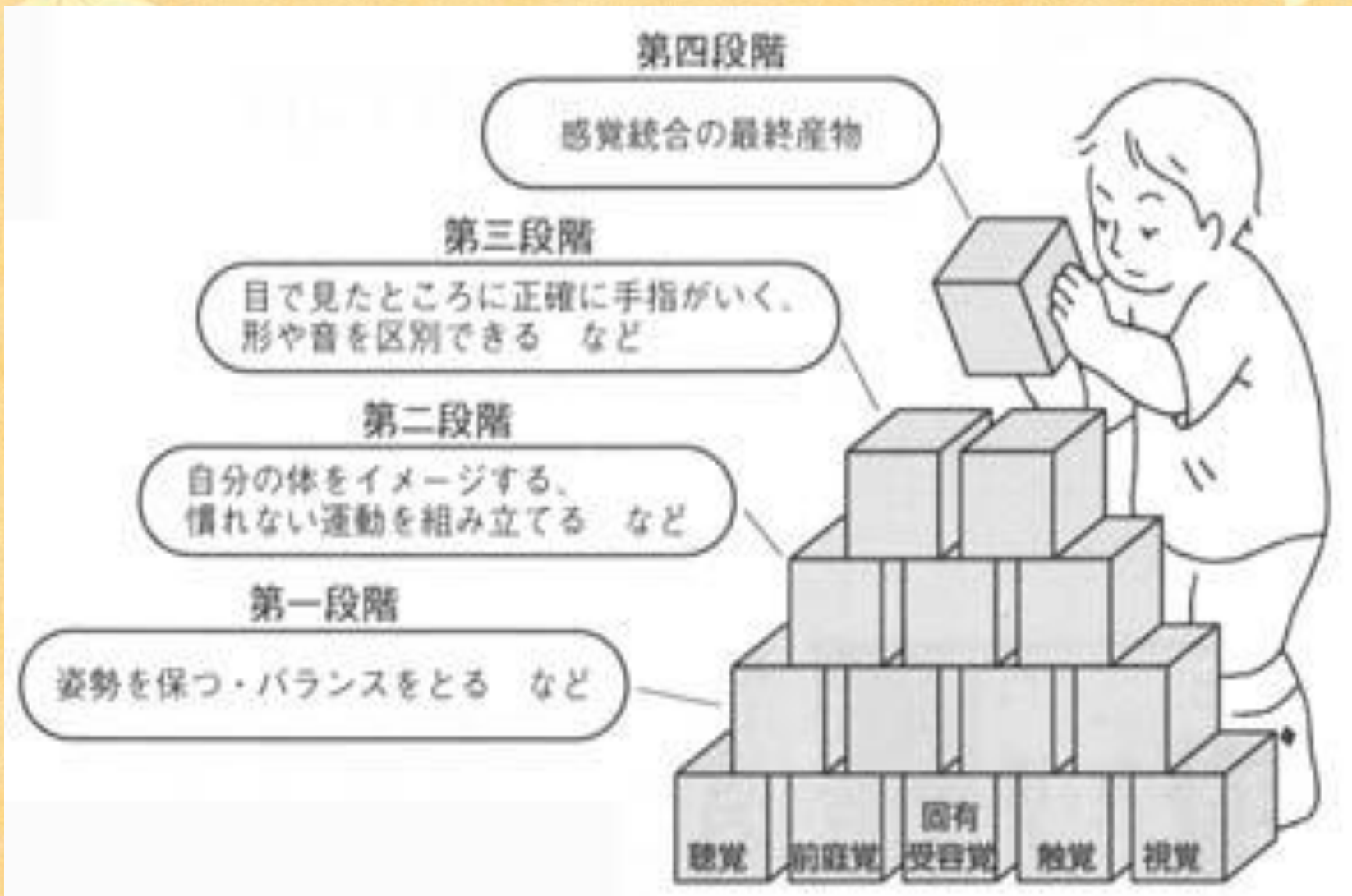
年齢	発達段階	遊び
～2歳	感覚運動期	感覚刺激や運動刺激が遊びとなる時期
2～4歳	表象・単純構成期	玩具が遊びに積極的に利用され、対象物の変化や携帯の面白さが遊びの対象となる時期。
4～7歳	劇的・複雑構成・前ゲーム期	物語性と複雑な構成が遊びの要素となる時期。善と悪との役割の分化、物語上の危機と解決などが遊びに求められる。
7～12歳	ゲーム期	物語が複雑化し、様々な人物像や因果関係が重要となる時期。スポーツ等の集団活動に積極的に参加し、自らの世界とは異なる虚構や異文化に関心を示す事がある。
12～16歳	レクリエーション期	スポーツマン精神や社会人としての意識を持ちながら余暇を楽しむようになる時期。

# 作業療法の手法

- ③ 感覚統合アプローチ
- ③ 感覚運動 遊びを通じたアプローチ
- ③ 視認知課題アプローチ
- ③ 学習前準備課題
- ③ 学習活動を用いたアプローチ
- ③ コミュニケーションスキルアップアプローチ
- ③ 作業活動 グループダイナミクス アプローチ

# 感覚統合機能の発達

## ～どこがうまく出来ていないのか？～



# 事例

- ❧ **Aちゃん（男児、広汎性発達障害疑い、初回時：3歳）**
- ❧ **母からの主訴：言葉が遅れているだけでなく、人とかかわろうとする様子がない。呼んでも振り向かない事が多い。家でもじっとしているのは寝るときくらい。外での砂遊びは好まず、汚れる事を極端に嫌う。家でポリバケツを頭にかぶってぐるぐる走り回ったり、高いところに怖がらず登ってしまう。思い通りにならないと大泣きしておさまらない。**
- ❧ **食事は偏食。排泄はおむつが外せず、尿便意の意思表示なし。靴下や帽子はすぐに脱ぎたがる。**

# 事例

アセスメント: 触覚過敏、触れる事を避ける事により二次的に固有・前庭感覚の刺激欲求が高い状況。巧緻的な動作は不得手、思うようにならず衝動的動作・痙攣あり。原始的な感覚の発達がそろわず、他者との交流段階にまで至っていない。

アプローチ:

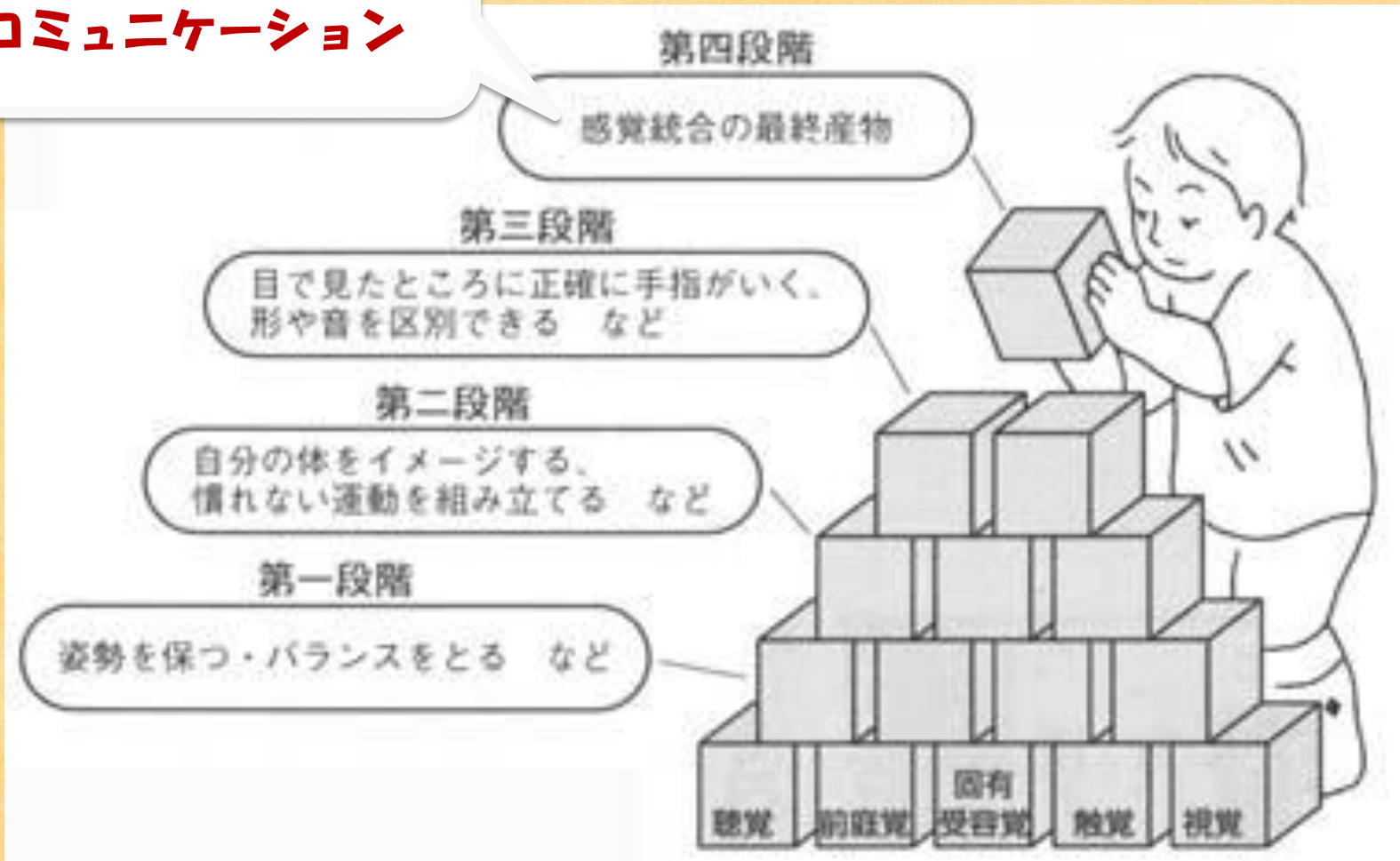
1. 欲求の高い固有・前庭系要素のある遊びの中で、触刺激の経験を増やす。(トランポリン、手押し車など)
2. 好きなおもちゃをセラピーパテの中から探し出す遊び
3. 遊びの中で他者に自ら触れる⇒触れられる事を予測できるようにする段階付け。

# 事例

- ③経過1: 集団療育や自宅での遊びでも、児のペースで勢いよく運動するだけでなく、身体を支える・踏ん張る・よじ登る・揺れの中でバランスを保つ遊びを多く経験して貰った。
- ③経過2: より刺激を得るために母やOTに自ら手を差し出せるように。欲求が満たされると着席時間が拡大。勢いに任せずスピードを調整する、ボールキャッチでタイミングよく手が出せるようになった。
- ③来春、就学(普通学校の特支学級)。トイレでの排泄が定着。発話が増え、小さい子を思いやる場面が増えた。数字やひらがなに興味を持ち、なぞりがき可。自らのりを(抵抗感はあるが)触れられるようになった。

# Sensory Communicationへ働きかける

言葉の発育  
コミュニケーション





# 地域の児童サポ<sup>o</sup>とOTとして…

見学の保育士



落ち着きのないこと等をお母さんには何度も説明してるんだけど、「つぼみ園では出来てるから」って全然理解されないんです…。

場面と環境で子供の状況は違うけれど  
なにか いい方法を一緒に

# 保護者へのはたらきかけ



つぼみ園・OT



保護者



保育・幼稚園

- ☞ 情報伝達のキーである保護者は心理的葛藤を持つ場合も多い。
- ☞ 高頻度とは言えない 個別指導の内容を、いかに日常生活に取り込んでもらうか。又は多くの支援情報から保護者の選択は？
- ☞ 伝え方の工夫（心理支持しながらも課題は伝える、受容の手助けをしながら ポジティブに 彼にとって 彼女にとって いいことはなんだろう）
- ☞ 情報収集・伝達を もっと気軽に 報・連・相。

# 行動障がい (気になる行動)に対して

- ③ 適切な薬物療法が基礎となることも
- ③ 原因 誘因 きっかけをつかむ
- ③ 自己刺激(感覚の取り込み)
- ③ 物事からの逃避
- ③ 他者の注意を自分に向けようとする行動
- ③ 好きな事物へのこだわり

(MAS; Motivation Assessment Scale)

# 対応

- 本人が要求する感覚入力を含めた遊びの導入
- 本人の主体性を重視した、Man to Man の十分な関わり
- TEACCHプログラム**(Treatment and Education of Autistic and related Communication handicapped Children) の利用(構造化)
  - スケジュール表の視覚的提示等

# 食事指導の実際

## ③ 食環境の整備

子どもを一人だけで食事をさせない  
楽しく落ち着いた雰囲気と和やかさ  
子どもの五感に働きかける

→ 声掛け、食器や食物を見せる

食物の温度、味付け、香りに注意

おかずを混ぜない(薬も) 適温で食べる

非言語的コミュニケーションに配慮

無理に食物を口腔に入れない

# 姿勢と起居移動

- ③ 頤の座り、全身の突っ張り、全身のくたくた（筋緊張の異常） 麻痺の状況
- ③ 体の左右差（脳性小児まひ等）  
上半身・下半身の麻痺の偏り
- ③ 寝返り、起き上がり、座っていただけるか  
← 寝返る練習・手で支える練習・座っている練習・座って遊ぶこと
- ③ つかまり立ち、伝い歩き、歩行器、歩行
- ③ 走る、のぼる、飛ぶ、けんけん、スキップ
- ③ ぶら下がる、引っ張る、押す、（体幹強化）

# 生物進化と運動発達

赤ちゃんは 魚類のような状況から 両生類・哺乳類・類人猿・人類 と 人類がたどった進化をたどって成長している

この発達過程で 未経験の 発達課題があったら 意図的に 近似した活動で脳を刺激し 正常発達を補う支援が必要なこともある

# 這うことの大切さ

うつ伏せは 内臓機能の強化・ 腹部筋群の活動を活発化 ・ 頭部コントロールの促進する

うつ伏せから 手で突っ張ることは 肩から手の筋群の活動の安定を図り、手のひらの感覚の過敏を解消し、指先を使う基本になる

這うことで骨盤が安定し、股関節周囲が強化され、歩行・応用動作 の基本となる

這う活動は脳の左右の分化、協調の基礎を作る



# コミュニケーションとは何か

❧ 「さまざまな情報内容」を「さまざまな手段」  
で 伝え合うこと

❧ 「意思・感情・思考などの 様々な情報内  
容」を「言葉・身振り・表情・文字・絵・通信  
技術など様々な手段」を用いて互いに交  
換し、共有し、やり取りしていくこと 送り  
手・受けて・相互交換で成り立つ

# コミュニケーションするのは 何のため？

赤ん坊は命を守るために 泣く 保護を求め  
食物を得るために甘える ほほ笑む

(快・不快)

幼児期は自分のほしいものや、したいこと  
のために声を上げる。名詞を覚える。怒ら  
れるようなことはしなくなり、ほめられるよ  
うなことをするようになる

(興味・探索・思考錯誤・承認)

# コミュニケーションするのは何のため？

❧学童期には その社会で生活し、自己実現し、認められるようになるために母国語を学び、社会的規範を学び、集団行動の決まりを学び、社会構成員の基礎を身につける

（学習・社会性の基礎）

❧思春期では 男性として、女性としてのコミュニケーション特性が顕著になることが多い。事象や物事についての好き嫌いを表出し、変化する自分自身に戸惑いつつ自我を形成。仲間うちのつながりを確認したがる （自我形成）

# コミュニケーションするのは何のため？

青年期には 親からの自立・職業の選択・社会への巣立ち 自己の確立 の課題があり、自己実現・成熟した依存(社会的に自立していく)のためのコミュニケーション、情報の取得をする。家族や他者との折衝・自己アピール・ほかの価値観を理解し受け入れる・共感的理解 等のコミュニケーションが必要となる。

(自立・自由・責任・理想・現実)

# コミュニケーションするのは 何のため？

成人期 ～ 中年期 には 伴侶を求め、仕事や役割を果たし、認められたい。自分の家族を創り、子育てをする。先人に教えられ、導かれて 社会的な規範の中で自分らしく暮らし、自己実現を目指す、安定した暮らしの継続を目指す、家庭内のコミュニケーション・職場でのコミュニケーション・社会でのコミュニケーションが必要となる。  
(自分育て、幸せ探し、子育て)

# コミュニケーション障害

精神発達遅滞・学習障害・口腔、発声器官不全  
広汎性発達障害・注意欠陥性行動障害・チック  
どもい

せん妄・認知症・健忘性障害

統合失調症・気分障害・不安障害

解離性障害・適応障害・パーソナリティ障害  
等

言語コミュニケーション  
非言語コミュニケーション

# 言語コミュニケーション

口腔 発声器官 の状況を見て 改善を促す

呼吸機能・のどの機能 の強化刺激も大切

興味・関心 コミュニケーションの必要性・本人の認知・行動パターンを見て支援

言語理解 言語表出 文字の理解 などの側面がある

# 非言語コミュニケーション

目が合う 呼ばれると振り返る

感覚過敏がコントロールされ ボディタッチで  
触れ合う

うなずきのサイン イエス・ノーの表出

表情を読む 表情を変える

 強化した刺激で促通や抑制

ジェスチャー しぐさ 指差し 模倣もコミュニ  
ケーション



# 広汎性発達障害

精神機能の広範な領域に関係する発達の偏りや問題

自閉症や自閉症に近似した特徴をしめす発達障害の総称

ICD-10(国際診断基準)

『相互的な社会関係とコミュニケーションのパターンにおける質的障害、および 限局した常同的で反復的な関心と活動の幅で特徴づけられる一群の障害』

# 自閉症の定義

3歳以前に起こってくる、以下の3つを主張とする 行動的症候群

- 1) 社会的相互関係における質的な障害
- 2) コミュニケーションにおける質的な障害
- 3) 反復的・情動的で限局された行動・興味活動

# 社会相互関係の障害

- ❧ 視線・表情・姿勢・身振り等でやり取りできない
- ❧ 状況に適していない表情・行動
- ❧ 相手の感情に対する反応が乏しい
- ❧ 喜び・興味・達成感を分かち合おうとしない
- ❧ 友人関係を発展させられない
- ❧ 他の人の気持ちを理解することが難しい
- ❧ 他の人にもニーズがあることが理解できない

# コミュニケーションの障害

- ❧ 話し言葉(特に意味理解)が種々の程度で苦手
  - ❧ 身振りや言葉を状況に合わせて適切に使えない
  - ❧ 会話を自分から始めたり、維持することが苦手
  - ❧ 独り言が見られたり、会話がかみ合わない
  - ❧ ごっこ遊びや模倣遊びをしない
- 
- ❧ 他者に興味を持たない 他者の介入を拒む
  - ❧ 他者をしっかり見ることが出来ない
  - ❧ 他者のマネをして遊ぼうとしない

# 反復的・情動的で限局された 行動・興味・活動

- ❧ 限られた興味やパターンに没頭する
- ❧ 興味や関心が限定され、内容や強さが異常
- ❧ 意味のない手順や儀式的行為への執着
- ❧ 手や体を動かしたりする常同的運動
- ❧ 特定の感覚刺激に没頭する
- ❧ 特定の部分のみに関心を示す
- ❧ 呼ばれても振り返らない・・・

# 自閉症についての考え方

- ❧ 脳機能障害が推測される発達障害である
- ❧ 親の性格や養育態度が原因ではない
- ❧ 行動で定義する 症候群 である
- ❧ 単一の原因ですべての自閉症が説明できるわけではない
- ❧ 基本的に生涯にわたる障がいである

生活のしづらさ 関わりにくさ の 障がい

治療するというより 理解し、対応し、本人  
の 社会適応性の発達を支援する

# 発生頻度

広範性発達障害（自閉症スペクトラム）

1/200人 1/100人

アスペルガー症候群

1/300人 1/200人

自閉症 1/1000人 1/500人

男女比 男:女 ≒ 3~4:1

\*ダウン症 1/1000人

# 自閉症に対する薬物療法

- ③ 問題行動【今は行動障害と表現します】に対する対症療法、補助的な対処法
- ③ 一部の薬剤は原因に対する治療法として研究されている
- ③ 療育を効率的に行ったり、家庭や社会での適応を良くするために用いられる
- ③ 少なくとも一部の症例には有効である
- ③ 困難が大きい時は 専門医の受診も・・・



# 自閉症に対する基本的理解

## ① 視知覚が強い こだわる

見たものを知覚・把握・記憶する能力は高い、見たものにこだわり修正できない、見たがる 認知がそこから離れない。または 資格を次々に気になり追う 注意が固定できない

## ② 細部に焦点を当ててこだわる

何が重要かわかりにくい 人と話していても 服のほつれに気を取られる。指輪等に触ってしまう。

## ③ 時間や空間を組織化出来ない

何時 何分かはわかっていても時間が経過していること、あとどのくらいで終わるかなどがわかりにくい

## ④ 類推・統合・概念の形成が困難

## 想像力の障害

具体的でないこと、目に見えないこと

抽象的なこと をイメージする能力の障害

- 暗黙のルール、未来、概念理解は苦手
- 目に見えること 体験したことは理解しやすい
- 予定の変更を受け入れにくい
- 変化を最小限に保ち、同一性を維持しようとする  
ために こだわりにつながる

## シングル・フォーカス

- ☞ 同時に2つ以上の情報を処理することが困難
- ☞ 1つのことにしか焦点をあてられない

例) 高機能のひとでも

聞くことに集中するとノートが取れない

興味のあることをしていると人の話が聞けない

表情を読み取ろうとすると

話の内容が分からない

## 感覚の異常

- 過敏(または鈍感)で、感じ方が異なる
- 視覚的なものにひきつけられてしまう  
細部に圧倒されてしまう
- 音に対する過敏・苦痛  
必要な音のみ選択することが出来ない
- 痛覚に鈍感、過敏
- 味覚、触覚の過敏による極端な偏食

# 問題行動についての検討

## 原因を検討する

どのような状況で、何をしているときに、  
どのような行動が起こったのか

## 予防的な対応を優先させる

背景・環境を工夫して行動を起こさせない

## 気分転換が出来る

気持ちが落ち着く工夫をする

# コミュニケーション方法を 双方で身につけていく

## 意味あるコミュニケーション工夫

- ・キーワード・身振り、文字、サイン、絵や写真(視覚的な理解の方が優位)
- ・聞いた言葉は残りにくい
- ・言葉は可能な限り具体的、明確に

## 言葉よりもコミュニケーションマインドを養う

- ・気分・意思・感情を共有する

# 場・時間についての意味を伝える

❧ 決まった席 決まった道具 いつもの言葉  
かけ わかりやすい環境を整える

❧ 時間の意味を伝える

タイマー・時計・砂時計

❧ スケジュールの構造化

予期しないことが起こることは非常に不安

❧ 終わり・時間経過・予定を視覚的に伝える  
工夫

# 適切な活動・適応行動を教える

不適切を減らすより 適応行動を増やす

NO でなく YES を伝える

Noという時は必ずYesを伝えて導く

正しいやり方、代わりにどんな風にしたら適切

か 理解できる言い方で伝える



# 事前に見通しを持たせる

状況の理解が困難 時間・空間の意味理解  
組織化が難しい、予定の変更や新しい状況  
を受け入れにくい

いつ・どこで・何を・いつまで・どのようにして  
終わったら どうするか

# 可能な限り苦痛を与えない

- ❧ 感覚の過敏(聴覚・触覚・痛覚)
- ❧ 意味の通じていない 叱責・罰・指示
- ❧ 希望や意志を考慮しない 指示・強制
- ❧ 限界を超えた 時間設定

いやな経験はフラッシュバックして問題行動を引き起こす

## ごほうび・報酬の利用

キャラクターシール や 外食 など

# 一人ひとりに合わせた個別対応

活動内容 ・ 環境

切り替えのタイミング

他者、ほかの子供たちとの一緒の活動  
と 一人で 没頭できる活動

コミュニケーションの工夫

感覚過敏への配慮と

感覚統合療法的な刺激への順応

# 自閉症の人を理解し、尊重する

❧ 自閉症の人たちにも一人一人違った個性があり、能力があり、意志がある。

❧ 画一的な判断や対応は意味がなかったり、かえって良くない

❧ 個別化

そのためのアセスメント

かかわる人たちの情報交換

が大切

# 自閉症の人を私たちに合わせるのか 私たちが自閉症の人たちに合わせるのか

- ☞ 理解と尊重
- ☞ バリアフリーと共生
- ☞ 異文化コミュニケーション

**ADHD (注意欠損多動性障がい) は元気印 エネルギー満載！プライドをつぶさずエネルギーコントロール あなたが〇〇してくれたから〇〇出来てすごいね！**

**アスペルガータイプは自分流をつらぬくこだわりの不器用 集中力・記憶力は得意。不安にしないでうまく折り合いをつけるやり方を教える。いいところを褒めると伸びる！**

# 『ちくっと言葉とふわっと言葉』

『本当に 何度言ったらわかるの！』『アーやめて！ 言う通りにしないからこんなことになるのよ！』『まだ出来ないの！』

『いいねえ がんばったねえ』『よく我慢したね 心配ないよ』『よく覚えていてくれたね お話聞いてくれてうれしいよ』

# **いいところ探し いいところ伸ばし**

**ダメなところ 出来ないこと 良くない行動の  
情報の前に 良いところ 出来たこと 良かつ  
た表情や しぐさ を 伝え合うことが大切。**

**ご家族が いい支援者になって頂けるように  
保育・療育のスタッフは ポジティブに 希望  
を提供することが大切！ ですね**

# 一緒に保育 一緒に教育

これからの日本は 超高齢社会  
人の尊厳 支えあう社会 職業の選択  
生き方のバラエティ 生きる意味  
自分が大事なら 他の人もそれぞれ大事  
多様性の共生 地域の総合力 家庭の力  
が 問われていく時代になってくる…感じですね  
健全といわれる子供たちも病む……かも  
一緒に保育の中で 気が付いていくこと  
育まれていくこと プラスの効果 や 感動……



# 今日はありがとうございます

## 連携とは

異なった 機関      異なった 職種  
異なった 価値観      異なった 視点  
の 人々がある 共通の目標の為に  
持っている力を 出し合い 合わせて  
目標を達成しようと 協力する姿  
報告 や 連絡 や 相談 や 役割分担

まずは 知り合うことから